

## 教育研究評議会議事録（第147回）

日 時：平成28年6月23日（木）15時00分～17時00分

場 所：事務局2階 第一会議室

出席者：岩渕、小川、丸山、菅原、大藤、吉川、上村、八代、横山、遠藤、船崎、高畑、比屋根、開、  
白倉、宮本、宇佐美、菊地、田代、藤代、海田、吉澤、武田、倉島、御領

欠席者：喜多

### 配付資料

1. 第2期中期目標期間評価に関する実績報告について
  - 1-1. 中期目標の達成状況報告書（案）
  - 1-2. 学部・研究科等の現況調査表（教育）（案）
  - 1-3. 学部・研究科等の現況調査表（研究）（案）
  - 1-4. 研究業績説明書
  - 1-5. 平成27事業年度に係る業務の実績及び第2期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書（案）
  - 1-6. 平成25～27事業年度における「共通の観点」に係る取組状況に関する資料（案）
2. 総合科学研究科の設置に向けた今後の検討体制について（案）
3. 岩手大学入試委員会（第2回）次第
4. 教育関係共同利用拠点申請書
5. 教員人事に関する報告について
6. 役員会報告
7. 学長・副学長会議報告
8. 経営協議会報告
9. 平成28年度岩手大学「ゆう活(夏の生活スタイル変革)」月間の実施方針
10. 「盛岡さんさ踊り」への参加に係るご寄附のお願い

### 議 題

#### 1. 第2期中期目標期間評価に関する実績報告について

学長から、第2期中期目標期間評価に関する実績報告について諮る旨が述べられた。

次いで、評価・分析室課長から資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

なお、学長からこの件については、6月28日開催予定の役員会で決定の後、文部科学省と大学改革支援・学位授与機構に各々提出する旨の付言があった。

#### 2. 総合科学研究科の設置に向けた今後の検討体制について

学長から、総合科学研究科設置に向けた今後の検討体制について諮る旨が述べられ、次いで、小川理

事から資料に基づき、全学委員会として新たに研究科長を加えた「総合科学研究科設置準備委員会」を発足させたいこと、現在の準備委員会も設置審の了がでるまでは継続させたいことの説明があった。

委員からは、新研究科設置準備委員会の任務には教務関係の問題があり荷が重すぎるのではないかと、との意見があり、「その他委員長が必要と認めた者」として教務委員長（部局の教務関係責任者）を加えることができるようにしていること、必要に応じてワーキンググループの設置も可能との説明があった。

また、学長から、新研究科長として副学長レベルの教員を想定していること、新研究科の責任者として早めに候補者を指名して対応したいことが述べられた。

審議の結果、当面教務関係の検討をするためにワーキンググループを作り対応することで、提案どおり了承された。学長から、6月23日からの施行とすることの付言があった。

また、委員から新研究科の広報関係の周知について、パンフレット等の作成状況がどうなっているかの照会があり、設置審の結果により公開情報をどのようにするか、準備委員会で責任を持って準備していること、入学定員充足の面からもできるだけ早急に進めることを確認した。

### 3. その他

なし

## 報 告

### 1. 中期財務見通しの見直しについて

小川理事から、今までの検討状況と今後の予定について、7月21日開催予定の組織検討委員会・財務委員会合同委員会で、最終的な対応方針を決定したいことの報告があった。

委員から、学部の教授会で説明しやすい資料等情報提供の希望や、もう少し検討の時間がほしい、若手教員への配慮が必要、資料は当日ではなくできれば事前に見せてほしい等の要望があった。

学長から、可能な限り対応するが、人事案件が関係するので早めに決めたいこと、国の運営費交付金配分方針も踏まえて何らかの案を出す予定であるが、厳しい状況での検討をせざるを得ないことを理解してほしいことが述べられた。

### 2. 第2回入試委員会報告について

丸山理事から、資料に基づき、6月3日開催の入試委員会報告があった。今後、ガイドラインに伴うアドミッション・ポリシーの見直しについて、臨時の入試委員会を開催して検討していく予定であることが述べられた。

委員から、平成29年度当初に新テスト実施要領が出る予定なので、全学で検討を始めないと間に合わないのではないかととの質問があり、丸山理事から、今の時点では新テストの内容が曖昧で不明なところが多く、具体的な検討に入るには困難を伴うが、アドミッション・ポリシーの見直しに続き、同じく臨時の入試委員会を開催するなどして全学的な検討を進める予定であることが述べられた。

### 3. FSCの教育関係共同利用拠点の申請について

農学部長から、資料に基づき、文部科学省事前相談の結果、平成27年度共同利用の実績がゼロの附属農場は取り下げることとし、附属演習林のみで教育関係共同利用拠点申請を文部科学省に提出したこと

の報告があった。認定後の構想に記載した6つの実習を実施するほか、各学部等でも何かの機会に利用していただき、実績を上げたいことが述べられた。

#### 4. 教員人事に関する報告について

菅原理事から、資料に基づき、三陸復興・地域創生推進機構地域創生部門の教員人事について報告があった。上村副学長から、教育研究業績書について、不適切な記載があるのではないかとの質問があり、修正した資料を再度報告することとした。

#### 5. 役員会報告について

学長から、前回の教育研究評議会以降に開催された役員会（第475回～第477回）について、資料に基づき報告があった。

#### 6. 学長・副学長会議報告について

学長から、前回の教育研究評議会以降に開催された学長・副学長会議（第48回～第51回）について、資料に基づき報告があった。

#### 7. 経営協議会報告について

学長から、6月6日に開催された第50回経営協議会について、資料に基づき報告があった。

また、総務部長から引き続き開催された第1回学長選考会議において、選考会議議長に高橋真裕氏が選出されたことの報告があった。

#### 8. 平成28年度岩手大学「ゆう活（夏の生活スタイル変革）」月間の実施方針について

総務部長から、資料に基づき、7月1日～8月31日までの間全ての教職員を対象にして、教職員の業務の効率化や超過勤務削減に努め生活スタイル変革を図るため、「ゆう活（夏の生活スタイル変革）」を実施するとの報告があった。

#### 9. 「盛岡さんさ踊り」への参加に係るご寄附のお願い

総務部長から、資料に基づき、岩手大学ではさんさ踊りパレードに、8月3日（水）午後7時38分頃から出場することになったことが述べられた。また、181名の学生・教職員が参加予定であること、参加に係る諸経費への支援として、広く教職員からご寄附をいただきたいことの説明があった。

#### 10. その他

●農学部長から、農業教育資料館の広報用として、席上配布したクリアファイルを作成・販売（1枚250円）していることの報告があり、来客等へ紹介していただきたいことが述べられた。

また、「平成28年熊本地震 東海大学農学部被災学生支援募金」について、学内から131,132円が寄せられたこと、これを東海大学に送金したことの報告と御礼が述べられた。

●理工学部長から、大学院の授業科目を学部生の時に履修させ、大学院入学後に修了要件単位として認

定できるよう学務部と検討中であること、学則上で「入学前の既修得単位認定」について規定があるが、科目等履修生等の経費を発生させずに履修・単位認定し、早期修了等も可能となるように見直ししたいことの説明があった。

委員からは、高大連携事業の一環として高校生にも導入できるようにしてはどうか、ウインターセッションの機会を利用できないか等の意見があり、小川理事から、現在コンソーシアムでウインターセッションは好評で受講制限をしている状況があり、今後開催体制について検討をしたいことが述べられた。

また学長から、優秀な学生が大学院に入学できるよう、学部一修士一博士と一連の流れで検討し、岩手大学オリジナルの方針として考えて行きたいことが述べられた。

\*学長から、次回の教育研究評議会は、7月28日（木）15時から開催する予定であることが述べられた。